研修企画書

作成　2026年10月27日

企画No.	ページ
26-000b	1／2

提　出　先	様		
研修テーマ	新入職員導入研修　～　自律型組織人として		対象・人数 約30名
日　　時	2027年度　4月	時間数 9:00～17:00	テキスト・資料 原稿を納品いたしますので、ご参加人数分ご準備下さい。
会　　場	貴院ご指定会場		
担当講師	ビジネスブレーン講師		

❖　学習の狙い

過去に学んだことが正解とは限らない時代には、自分の考えを言葉にし、他者との対話と振り返りを通じて自らの考え方を深める力が求められます。ACP を推進する医療・介護人材にとっても、自らの価値観や判断軸を自覚し、相手が大切にしていることを理解して意思決定を支えるうえで、重要な力です。

本研修では、グループ学習での対話を通して自分で考え、学び続ける姿勢を育みます。組織の使命を踏まえ、患者・家族とチームへの貢献を考えて行動する「自律型組織人」としての基盤をつくるとともに、自らの成長とキャリアを主体的に方向づけることを目指します。

・自律型組織人：組織の使命を踏まえ、患者・家族とチームへの貢献を考え、自ら判断し行動する。
・キャリア自律：自分が大切にしたいことや目指す姿を捉え、経験から学び、自らの成長を方向づける。

❖　学習の目標

1. 組織の使命と自分への期待を理解し、ステークホルダーのために担う役割を考える。
2. 何を大切にして行動を決めるかを言葉にし、他者との対話を通じて判断軸を見直す。
3. 関係性構築に必要なコミュニケーションと、サービス提供者としての基本行動を学ぶ。
4. 安全・効率・コストを踏まえ、科学的な仕事の進め方を学ぶ。
5. 正確な指示受けと、患者・チームの判断や行動につながる報告・連絡・相談を学ぶ。
6. 感情や思い込みに気づき、困難な場面での対処や周囲への支援の求め方を考える。
7. 学びを振り返り、自己成長目標を設定する。

❖　研修の方法

研修前　SNS による事前学習。自分が大切にしていることや、目指す社会人像を考える。
研修中　講義、グループワーク、ケース検討、ロールプレーイング、相互フィードバック。
研修後　３か月後、具体的な経験からの成長を４側面で振り返り、次の行動目標を考える。

❖　ご準備いただくもの

・ホワイトボード
・パワーポイント用プロジェクタ&PC
・模造紙　…　２枚/グループ
・水性マジック　…　１セット/グループ
・グループ編成表　…　４～５名/グループ
・付箋（75×75）　…　100枚/グループ

❖　その他のお願い

各自スマートフォン、iPhone、iPad など QR コードを読み取れるデバイスをご持参のうえご参加ください。

有限会社 ビジネスブレーン
TEL　044－865－3081

企画
永　井

研修スケジュール

企画№.	ページ
26-000b	2／2

時　間	カ リ キ ュ ラ ム	主　な　内　容
09:00	○研修の狙い （講義・グループワーク） ・学習目標の確認 ・学生と社会人の相違 ・関係性構築の重要性とポイント ・挨拶の基本	＊研修の目的･目標を確認する ＊学生意識を払拭し、社会・組織人への切り替えを図る。 ＊成功の循環モデルについて理解し、関係性構築の重要性を確認し、挨拶基本行動を学ぶ。
	○施設の一員としてのあり方 （講義・グループワーク・演習） ・企業コンセプトと私たち ・組織とは ・職場のルールの目的と意義 ・ステークホルダーへの社会的責任	＊施設の使命、ステークホルダーの期待、組織とルールの目的を確認する。 ＊「忙しそうな先輩への報告をためらう」事例から、自分が大切にした判断軸と、患者・チームのために担う役割を対話で考える。
	○チームワークと対話力 （講義・グループワーク・演習） ・正確な指示受けの基本 ・報告・連絡・相談の基本	＊正確な指示受けのあり方やタイムリーな報告・連絡・相談の基本を学ぶ。 ＊報告の事例を用いて、伝えるタイミングと内容を考え、演習で確かめる
	○科学的な仕事の進め方と対話力 （講義・グループワーク・演習） ・PDCA の基本 ・安心、安全、効率の良い職場と 5S	＊午前の演習を PDCA で振り返り、次の改善を考える。５Ｓと安全・効率・コストの関係を、身近な職場の場面から確認する。
12:30		
	昼　　食	
13:30	○サービス提供者として成長する （講義・グループ実習・ペアワーク） ・私たちのサービスが目指す事 ・私の強みと第一印象の創造 ・身だしなみの基本	＊それぞれの立場が目指すサービスを明確にする。 ＊自己の強みを把握し、自らの強みを活かし第一印象づくり、身だしなみの整え方について考える
	○対話のマナー （講義・グループ演習） ・敬語の基本 ・関係性の構築とクッション用語 ・スピーチロックの回避 ・フィードバックの受け止め方・求め方 ・電話応対の特徴 ・電話応対の基本～演習	＊敬語・クッション用語・スピーチロックの回避を応対演習で扱う。 ＊相手の立場からフィードバックし、受け止め方・求め方を学んで再実践する。 ＊電話の受け方・取り次ぎ・伝言を演習する。相手やチームが次の行動を取れる情報かを確かめ、フィードバックと再実践で改善する。
	○心理的柔軟性を磨く （講義・演習） ・レジリエンスとは ・感情のマネジメント ・支援の求め方	＊報告やフィードバックの演習を基に、感情や思い込みに気づく。レジリエンスの基本を学び、自分を回復させる方法、支援の求め方、目的に沿う行動を考える。
	○まとめ ・キャリア自律と成長目標 ・振り返り・まとめ	＊自分が大切にしたいことと目指す姿を確認し、学びから強みと成長課題を整理する。患者・家族とチームへの貢献に結びつく１か月間の行動目標と評価日を決め、仲間と共有する。
17:00		

※ 講師の判断で一部内容を変更することがあります。